

3月27日の米国株式市場の下落について

米国の新型コロナウイルス感染者数が世界最多に

2020年3月30日

米国での感染拡大に歯止めがかからず

3月27日（現地、以下同様）の米国株式市場は、NYダウ、S&P500、ナスダック総合の主要3指数がいずれも4%前後下落しました。下落の要因としては、以下のような点があげられます。

- 新型コロナウイルス問題に対処するための大規模経済対策などを好感し、米国株式市場は24日-26日の3営業日でNYダウが21.3%上昇するなど急回復しており、その反動があったとみられること。
- 米国での感染拡大に歯止めがかからず、感染者数が中国を上回り世界最多となったことや、ジョンソン英国首相のウイルス感染を受けて、移動制限長期化への懸念や不安心理が増幅されたこと。
- 消費者心理の悪化を示す経済指標が発表され、景気後退への懸念が高まったことや、FRB（米国連邦準備制度理事会）が4月2日、3日の米国財務省証券購入を減額すると発表したこと。

今のところ、米国での新型コロナウイルスの感染拡大ペースに鈍化の兆しは見え、景況感は大いに悪化しています。一方で、リーマンショック時の2.5倍程度の金額となる大規模経済対策が成立しました。内容は、家計への小切手給付3000億米ドル、失業保険給付の拡充2500億米ドル、中小企業支援3500億米ドル、FRBの資金供給制度への拠出4250億米ドルなどです。感染拡大の状況次第ではありますが、大規模経済対策は、経済的な不安心理の軽減や、景気底打ち後の回復促進には効果を発揮すると考えられます。

米国の株価指数と長期金利の推移



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更します。

大和投資信託

Daiwa Asset Management